

# 年 頭 ご 挨拶

2021 年 1 月



一般財団法人  
電気通信端末機器審査協会 (JATE)  
理 事 長 関 啓 一 郎

新年明けましておめでとうございます。  
2021 年の年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、賛助会員、お客様始め関係の皆様方の多大なるご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

思いがけない新型コロナウイルスの蔓延で、日本のみならず世界中で大変な 2020 年でした。ペスト、天然痘、スペイン風邪などの疫病の流行は歴史の教科書では習いましたが、まさか自分の生きている時代に起きるとは夢にも思いませんでした。

昨年前半は、メーカーも活動自粛により新商品の開発が遅れ気味でしたが、夏以降には活動が戻り、特に 5G 対応の新規端末が多く登場したように思います。今年も 5G を中心に活況を呈することを祈りたいです。

新型コロナは私たちの生活スタイルにも大きな影響を与えました。否応なくテレビ電話やビデオ会議などが一気に使われるようになり、テレワークもやればできることがわかりました。もうコロナ以前の生活には戻ることはないでしょう。ICT 産業は社会経済活動を支えるインフラとしての性格を強めています。

他方、我が国のデジタル化がものすごく遅れていることにも気づかされました。いわゆる 10 万円の特別定額給付金でも時間がかかり、必要な時に届かないと批判されました。諸外国では手続きがデジタル化されていてすぐに口座入金されるのが当たり前です。保健所では、感染者数の報告を FAX でやりとりしていたという事実も判明しました。日本は何でこんなに後進国になってしまったのでしょうか？ かつて IT 戦略本部の事務局としてオンライン化を進めていたわが身にとって忸怩たる思いがあります。IoT、ビッグデータ、AI (人工知能)、さらには Industrie 4.0 や Society 5.0、デジタルトランスフォーメーションといった言葉遊びをしている暇はありません。

今年、菅総理がリーダーシップをとるデジタル庁設置法案が国会に提出され、9 月に同庁が発足予定です。大いに進展を期待したいです。

ネットを用いて、居ながらにして買い物、決済、各種手続き、ビデオ会議や商談などのビジネスなど、社会経済活動の多くができるようになると、心配になるのはサイバーセキュリティです。JATEは、引き続き、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）審査を通じて、安全対策の充実に貢献していきます。

端末認証では、5G（第5世代移動通信）端末の認証体制をさらに充実します。4GのFDD（frequency division duplex、周波数分割複信）で運用されている帯域を5Gで利用するための対応端末の認証を開始するほか、NSA（Non-Stand Alone）という、既存の4Gネットワークを用いて5Gサービスを提供する方式から、本格的な5GネットワークによるSA（Stand Alone）方式の端末に係る認証も早期に開始する予定です。

延期された東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催されます。BSでの4K・8K放送も普及期に入りました。コロナによる巣ごもりで、テレビ、PC、ゲームなどの販売は堅調です。5Gでのネット配信も本格化するでしょう。娯楽の面でのICT活用も楽しみです。

さて、今年はどうなるのか、干支から予想したいと思います。

2021年の十干は「辛(かのと)」、十二支は「丑(うし)」です。干支は「辛丑(かのと・うし)」となるそうです。

陰陽五行説では、辛(かのと)は、「新」と同義で、環境の変化、いままでと違った新しい段階への移行であり、辛さや辛いイメージから、衰退や痛みを伴う幕引きを意味するとのこと。また、丑(うし)はひねるや曲げるを表す象形文字が語源で、はじめ・新たな出発という意味が生じたそうです。「紐」とも同義で、結びつける力という意味も持っています。辛と丑をあわせて、衰退・痛みを伴う幕引きと始動・新たな出発が互いに強め合うことを意味します。つまり、辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になることを示すそうです。(所説あります。)

この解釈を当てはめると、コロナ禍で苦しみました、今年これを克服し、新たな発展につながるものと期待しています。コロナ禍で進展したデジタル環境が当たり前となり、今までとは違う日常が定着することでしょう。

これは迷信かもしれませんが、多くの方が思うことは現実化します。輝かしい2021年となることを信じようではありませんか。

JATEでは、昨年はテレワークのためのリモートVPN環境の整備や押印廃止などに取り組みました。今年も、皆様方に支えられて培ってきた品質や信頼性の高さを活かし、より一層の利便性・効率性を高めて、顧客に寄り添った業務運営に努めていきます。今年も皆様の多大なるご支援をお願いいたしますとともに、益々のご利用を心からお待ち申し上げます。